令和８年度九州女子短期大学三つのポリシー（ＤＰ・ＣＰ・ＡＰ）一覧表

学則第３条 （学是）	本学の建学の精神は、自らの良心に従い事に処し善を行うことである。この学是「自律処行」は、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる強くてしなやかな女性を育成することを目的とする。

人材養成及び教育研究上の目的	学則第３条の２ 本学は、学是「自律処行」の理念に立脚し、乳幼児期から青年期に至る子どもの成長・発達の科学的理解及びその科学的理解に基づく心身の健やかな成長・発達を支援する専門的知識・技能について学び、確かな子ども理解と健康観に支えられた発達と健康維持・増進を支援する実践的力量を修得させることを目的とする。	学則第３条の３ 子ども健康学科は、他者との協調性、自己理解力、的確な判断力を培い、自主・自立の人材を養成する。また、子どもの心身の健やかな成長・発達について深い知識と高い技能を有し、子どもの成長・発達と健康の維持増進を支援する実践的力量をもった人材の養成を目的とする。	学則第62条の２ 子ども健康学専攻は、人間の発達段階における諸問題、特に健康支援についての専門的知識と技能を身につけ、地域社会に貢献できる専門的職業人の育成並びに実践力のあるリーダーシップを発揮できる人材の育成を目的とする。

	短期大学全体	子ども健康学科	専攻科 子ども健康学専攻
卒業認定・学位授与の方針 【ディプロマ・ポリシー（ＤＰ）】	本学は、学是「自律処行」の精神に基づき、自ら課題を発見し、解決に向けて立案した方策を実行して社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた女性を育成することを目指す。その実現のために、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）を３つの領域（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性・倫理性）から構成する。子ども健康学科の課程を修め、規定する期間以上在学し、卒業要件を満たした学生に対して、卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。 また、専攻科子ども健康学専攻の課程を修め、規定する期間以上在学し、修了要件の単位を満たした学生に対して、修了証書を授与する。 **知識・技能** 社会人に相応しい教養および専攻する学問分野における基本的な知識を体系的・構造的に理解するとともに、学んだ知識や自己のあり方等について、文化、社会、自然等と関連づけて身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 多様なコミュニケーション能力を用いて他者と円滑にコミュニケーションができ、地域や社会における課題に取り組むため課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 高い倫理性をもって自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動できるとともに、多様な人々と積極的かつ効果的に協調・協働して行動できる。 さらに、地域や社会の一員としての意識を持ち、その改善や発展に向けて貢献しようとする協働力を身に付けている。	子ども健康学科では、教育や保育の場において求められる知識・技能・態度等をもとに自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。 **知識・技能** 1. 幼稚園教諭、保育士、養護教諭として相応しい教養を身に付けている。 2. 教育者、保育者として子ども一人一人の特性を理解し尊重しながら、育ちを支え、体と心の健康、安全を守ることができる専門的知識と技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 専門的な知識、技能を充分に活用して、保育や教育・子育て支援の場で対応できる思考力、判断力、表現力及びコミュニケーション能力を身に付けている。 2. 教育・保育に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている **主体性・協働性・倫理性** 1. 子どもと保護者の立場に立ってその気持ちを受容し、理解し、共感しようとする態度を身に付けている。 2. 教育者、保育者の役割と責任を認識し、自ら成長し向上して責任を果たそうとする情熱と意欲を持ち、社会への奉仕の精神、人に対する優しさと思いやりを身に付けている。 3. 教育者、保育者として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。	修了方針 子ども健康学専攻では、教育の場において求められる知識・技能・態度等をもとに自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に修了証書を授与する。 **知識・技能** 1. 養護教諭としてふさわしい、高度な専門的知識と技能を身に付け、児童・生徒の特性や教育の本質を、養護教諭としての教育実践に関連付けて理解している。 2. 児童・生徒、教員、保護者等と意思の疎通、連携、協力ができるコミュニケーション能力、ICT 能力を身に付け、体系的、構造的に理解している。 **思考力・判断力・表現力** 1. 専門的な知識、技能を充分に活用して、教育の場で課題を解決する確かな実践力と研究力を有している。 2. 一人一人の特性を理解し尊重しながら、育ちを支え、体と心の健康、安全を守ることができる。 **主体性・協働性・倫理性** 1. 児童・生徒の立場に立ってその気持ちを受容し、理解し、共感しようとする態度を身に付けている。 2. 養護教諭の役割と責任を認識し、自ら成長し向上して責任を果たそうとする情熱と意欲を持ち、社会への奉仕の精神、人に対する優しさと思いやりを身に付けている。 3. 養護教諭として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。
教育課程編成・実施の方針 【カリキュラム・ポリシー（ＣＰ）】	本学では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および修了方針に掲げる目標を達成するために、学科・専攻科ごとに教育課程を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. 心身ともに健康かつ文化的に豊かな人生を送るために必要な知識・技能に関わる分野の科目を配置する。 2.「子ども」に関する幅広い専門知識と実践力を備え、基本的な内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。 **教育方法** 1. 講義形式の授業とともに、学生の主体的な学びを引き出すために少人数授業、習熟度別授業、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業等の多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。 2. 学外実習等の体験的な学習活動を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。 2. 学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たすことを含め、総合的に評価する。	子ども健康学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、教養教育科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. 幅広い教養の修得をめざす科目のほか協調性、自己理解・自己管理能力、課題対応能力を身に付けるためのキャリア支援科目を含めた教養教育科目を配置する。 2. 子どもの発達支援及び健康の維持増進に関する専門的知識・技能を身に付けるための専門教育科目を配置する。 3. 専門教育科目は、学科の基礎的な科目で構成する基礎科目と、進路に応じて「発達支援領域」、「健康支援領域」のいずれかに軸足をおきながら両領域の知識・技能を修得するよう基幹科目及び教職関連科目を配置する。 4. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 学外実習などの体験的な学習活動を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。 2. 2 年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。	子ども健康学専攻では、修了方針に掲げる目標を達成するために、専門的科目、専門関連科目、教職に関する専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. 学科の課程における「子ども」に関する学びを基礎とし、子どもの心身の健康を維持増進する専門的かつ実践的な知識及び技能を体系的に学べるように科目を配置する。 2.「子ども健康学特論」を主軸科目として位置づけ、教育・保健学領域の科目において子どもの成長と発達を具体的に深く学べる科目を配置する。 3. 障がいをもつ子どものサポートを含め、より高度な「子ども」に関する学びを深める科目を配置する。 4. 社会での実践力の基礎を培うためキャリア教育の科目を配置する。 5. 学修成果のレポート作成に関する修了研究では、幅の広い「子ども」に関する学びが効果的に反映されるような研究活動が展開できるような体制をとる。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 学外実習などの体験的な学習活動を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。 2. 2 年間の学修成果は、修了要件の単位を満たしたことにより認定する。
入学者受入れの方針 【アドミッション・ポリシー（ＡＰ）】	本学は、学是「自律処行」を理解し、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げた目標を強い意志を持って達成しようとする人を受け入れる。 また、それぞれの学科・専攻科が必要としている「基礎的・基本的な知識・技能の習得」、「課題を解決するための思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」を有し、さらに、教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）をよく理解し、各学科・専攻の教育目標に応えて修得しようとする人を広く受け入れる。	子ども健康学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、基礎学力および教育や保育の現場で必要となる人間関係能力、文章力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 乳幼児、児童、生徒と実際に関わっていくために必要な論理的思考力および表現力を持つとともに課題解決力を持っている。併せて、子どもの心身の健やかな成長発達を支援することに熱意を持っている。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**	子ども健康学専攻は修了方針および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 短期大学等で、子どもの心身の健全な成長・発達および子育てに関する基礎的な知識を身につけている。**（知識・技能）** 2. 児童・生徒の発達段階をサポートするために必要な論理的思考力および表現力を持つとともに、課題解決力を持っている。併せて、教育・保健学領域に深い関心を持ち、養護教諭として働くことに熱意を持っている。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**

令和７年度九州女子短期大学三つのポリシー（ＤＰ・ＣＰ・ＡＰ）一覧表

学則第３条 （学是）	本学の建学の精神は、自らの良心に従い事に処し善を行うことである。この学是「自律処行」は、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる強くてしなやかな女性を育成することを目的とする。

人材養成及び教育研究上の目的	学則第３条の２ 本学は、学是「自律処行」の理念に立脚し、乳幼児期から青年期に至る子どもの成長・発達の科学的理解及びその科学的理解に基づく心身の健やかな成長・発達を支援する専門的知識・技能について学び、確かな子ども理解と健康観に支えられた発達と健康維持・増進を支援する実践的力量を修得させることを目的とする。	学則第３条の３ 子ども健康学科は、他者との協調性、自己理解力、的確な判断力を培い、自主・自立の人材を養成する。また、子どもの心身の健やかな成長・発達について深い知識と高い技能を有し、子どもの成長・発達と健康の維持増進を支援する実践的力量をもった人材の養成を目的とする。	学則第62条の２ 子ども健康学専攻は、人間の発達段階における諸問題、特に健康支援についての専門的知識と技能を身につけ、地域社会に貢献できる専門的職業人の育成並びに実践力のあるリーダーシップを発揮できる人材の育成を目的とする。

	短期大学全体	子ども健康学科	専攻科 子ども健康学専攻
卒業認定・学位授与の方針 【ディプロマ・ポリシー（ＤＰ）】	本学は、学是「自律処行」の精神に基づき、自ら課題を発見し、解決に向けて立案した方策を実行して社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた女性を育成することを目指す。その実現のために、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）を３つの領域（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性・倫理性）から構成する。子ども健康学科の課程を修め、規定する期間以上在学し、卒業要件を満たした学生に対して、卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。 また、専攻科子ども健康学専攻の課程を修め、規定する期間以上在学し、修了要件の単位を満たした学生に対して、修了証書を授与する。 **知識・技能** 社会人に相応しい教養および専攻する学問分野における基本的な知識を体系的・構造的に理解するとともに、学んだ知識や自己のあり方等について、文化、社会、自然等と関連づけて身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 多様なコミュニケーション能力を用いて他者と円滑にコミュニケーションができ、地域や社会における課題に取り組むため課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 高い倫理性をもって自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動できるとともに、多様な人々と積極的かつ効果的に協調・協働して行動できる。 さらに、地域や社会の一員としての意識を持ち、その改善や発展に向けて貢献しようとする協働力を身に付けている。	子ども健康学科では、教育や保育の場において求められる知識・技能・態度等をもとに自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。 **知識・技能** 1. 幼稚園教諭、保育士、養護教諭として相応しい教養を身に付けている。 2. 教育者、保育者として子ども一人一人の特性を理解し尊重しながら、育ちを支え、体と心の健康、安全を守ることができる専門的知識と技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 専門的な知識、技能を充分に活用して、保育や教育・子育て支援の場で対応できる思考力、判断力、表現力及びコミュニケーション能力を身に付けている。 2. 教育・保育に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている **主体性・協働性・倫理性** 1. 子どもと保護者の立場に立ってその気持ちを受容し、理解し、共感しようとする態度を身に付けている。 2. 教育者、保育者の役割と責任を認識し、自ら成長し向上して責任を果たそうとする情熱と意欲を持ち、社会への奉仕の精神、人に対する優しさと思いやりを身に付けている。 3. 教育者、保育者として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。	修了方針 子ども健康学専攻では、教育の場において求められる知識・技能・態度等をもとに自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に修了証書を授与する。 **知識・技能** 1. 養護教諭としてふさわしい、高度な専門的知識と技能を身に付け、児童・生徒の特性や教育の本質を、養護教諭としての教育実践に関連付けて理解している。 2. 児童・生徒、教員、保護者等と意思の疎通、連携、協力ができるコミュニケーション能力、ICT 能力を身に付け、体系的、構造的に理解している。 **思考力・判断力・表現力** 1. 専門的な知識、技能を充分に活用して、教育の場で課題を解決する確かな実践力と研究力を有している。 2. 一人一人の特性を理解し尊重しながら、育ちを支え、体と心の健康、安全を守ることができる。 **主体性・協働性・倫理性** 1. 児童・生徒の立場に立ってその気持ちを受容し、理解し、共感しようとする態度を身に付けている。 2. 養護教諭の役割と責任を認識し、自ら成長し向上して責任を果たそうとする情熱と意欲を持ち、社会への奉仕の精神、人に対する優しさと思いやりを身に付けている。 3. 養護教諭として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。
教育課程編成・実施の方針 【カリキュラム・ポリシー（ＣＰ）】	本学では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および修了方針に掲げる目標を達成するために、学科・専攻科ごとに教育課程を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. 心身ともに健康かつ文化的に豊かな人生を送るために必要な知識・技能に関わる分野の科目を配置する。 2.「子ども」に関する幅広い専門知識と実践力を備え、基本的な内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。 **教育方法** 1. 講義形式の授業とともに、学生の主体的な学びを引き出すために少人数授業、習熟度別授業、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業等の多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。 2. 学外実習等の体験的な学習活動を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。 2.　学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たすことを含め、総合的に評価する。	子ども健康学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、教養教育科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. 幅広い教養の修得をめざす科目のほか協調性、自己理解・自己管理能力、課題対応能力を身に付けるためのキャリア支援科目を含めた教養教育科目を配置する。 2. 子どもの発達支援及び健康の維持増進に関する専門的知識・技能を身に付けるための専門教育科目を配置する。 3. 専門教育科目は、学科の基礎的な科目で構成する基礎科目と、進路に応じて「発達支援領域」、「健康支援領域」のいずれかに軸足をおきながら両領域の知識・技能を修得するよう基幹科目及び教職関連科目を配置する。 4. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 学外実習などの体験的な学習活動を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。 2. 2 年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。	子ども健康学専攻では、修了方針に掲げる目標を達成するために、専門的科目、専門関連科目、教職に関する専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. 学科の課程における「子ども」に関する学びを基礎とし、子どもの心身の健康を維持増進する専門的かつ実践的な知識及び技能を体系的に学べるように科目を配置する。 2.「子ども健康学特論」を主軸科目として位置づけ、教育・保健学領域の科目において子どもの成長と発達を具体的に深く学べる科目を配置する。 3. 障がいをもつ子どものサポートを含め、より高度な「子ども」に関する学びを深める科目を配置する。 4. 社会での実践力の基礎を培うためキャリア教育の科目を配置する。 5. 学修成果のレポート作成に関する修了研究では、幅の広い「子ども」に関する学びが効果的に反映されるような研究活動が展開できるような体制をとる。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 学外実習などの体験的な学習活動を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。 2. 2 年間の学修成果は、修了要件の単位を満たしたことにより認定する。
入学者受入れの方針 【アドミッション・ポリシー（ＡＰ）】	本学は、学是「自律処行」を理解し、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げた目標を強い意志を持って達成しようとする人を受け入れる。 また、それぞれの学科・専攻科が必要としている「基礎的・基本的な知識・技能の習得」、「課題を解決するための思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」を有し、さらに、教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）をよく理解し、各学科・専攻の教育目標に応えて修得しようとする人を広く受け入れる。	子ども健康学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、基礎学力および教育や保育の現場で必要となる人間関係能力、文章力を身に付けている。**（知識・技能）** 2. 乳幼児、児童、生徒と実際に関わっていくために必要な論理的思考力および表現力を持つとともに課題解決力を持っている。併せて、子どもの心身の健やかな成長発達を支援することに熱意を持っている。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**	子ども健康学専攻は修了方針および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 短期大学等で、子どもの心身の健全な成長・発達および子育てに関する基礎的な知識を身につけている。**（知識・技能）** 2. 児童・生徒の発達段階をサポートするために必要な論理的思考力および表現力を持つとともに、課題解決力を持っている。併せて、教育・保健学領域に深い関心を持ち、養護教諭として働くことに熱意を持っている。**（思考力・判断力・表現力）** 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。**（主体性・協働性・倫理性）**

令和６年度九州女子短期大学三つのポリシー（ＤＰ・ＣＰ・ＡＰ）一覧表

学則第３条（学是）	本学の建学の精神は、自らの良心に従い事に処し善を行うことである。この学是「自律処行」は、自ら立てた規範に従って、自己の判断と責任の下に行動できる強くてしなやかな女性を育成することを目的とする。

人材養成及び教育研究上の目的	学則第３条の２ 本学は、学是「自律処行」の理念に立脚し、乳幼児期から青年期に至る子どもの成長・発達の科学的理解及びその科学的理解に基づく心身の健やかな成長・発達を支援する専門的知識・技能について学び、確かな子ども理解と健康観に支えられた発達と健康維持・増進を支援する実践的力量を修得させることを目的とする。	学則第３条の３ 子ども健康学科は、他者との協調性、自己理解力、的確な判断力を培い、自主・自立の人材を養成する。また、子どもの心身の健やかな成長・発達について深い知識と高い技能を有し、子どもの成長・発達と健康の維持増進を支援する実践的力量をもった人材の養成を目的とする。	学則第 62 条の２ 子ども健康学専攻は、人間の発達段階における諸問題、特に健康支援についての専門的知識と技能を身につけ、地域社会に貢献できる専門的職業人の育成並びに実践力のあるリーダーシップを発揮できる人材の育成を目的とする。

	短期大学全体	子ども健康学科	専攻科 子ども健康学専攻
卒業認定・学位授与の方針 【ディプロマ・ポリシー（ＤＰ）】	本学は、学是「自律処行」の精神に基づき、自ら課題を発見し、解決に向けて立案した方策を実行して社会に貢献できる、豊かな人間性と高い倫理性を備えた女性を育成することを目指す。 その実現のために、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）を３つの領域（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性・倫理性）から構成する。子ども健康学科の課程を修め、規定する期間以上在学し、卒業要件を満たした学生に対して、卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。また、専攻科子ども健康学専攻の課程を修め、規定する期間以上在学し、修了要件の単位を満たした学生に対して、修了証書を授与する。 **知識・技能** 社会人に相応しい教養および専攻する学問分野における基本的な知識を体系的・構造的に理解するとともに、学んだ知識や自己のあり方等について、文化、社会、自然等と関連づけて身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 多様なコミュニケーション能力を用いて他者と円滑にコミュニケーションができ、地域や社会における課題に取り組むため課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている。 **主体性・協働性・倫理性** 高い倫理性をもって自らを律し、自己の良心や社会のルールに従って行動できるとともに、多様な人々と積極的かつ効果的に協調・協働して行動できる。 さらに、地域や社会の一員としての意識を持ち、その改善や発展に向けて貢献しようとする協働力を身に付けている。	子ども健康学科では、教育や保育の場において求められる知識・技能・態度等をもとに自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。 **知識・技能** 1. 幼稚園教諭、保育士、養護教諭として相応しい教養を身に付けている。 2. 教育者、保育者として子ども一人一人の特性を理解し尊重しながら、育ちを支え、体と心の健康、安全を守ることができる専門的知識と技能を身に付けている。 **思考力・判断力・表現力** 1. 専門的な知識、技能を充分に活用して、保育や教育・子育て支援の場で対応できる思考力、判断力、表現力及びコミュニケーション能力を身に付けている。 2. 教育・保育に関する課題に取り組むための課題発見・解決能力、論理的思考力を身に付けている **主体性・協働性・倫理性** 1. 子どもと保護者の立場に立ってその気持ちを受容し、理解し、共感しようとする態度を身に付けている。 2. 教育者、保育者の役割と責任を認識し、自ら成長し向上して責任を果たそうとする情熱と意欲を持ち、社会への奉仕の精神、人に対する優しさと思いやりを身に付けている。 3. 教育者、保育者として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。	修了方針 子ども健康学専攻では、教育の場において求められる知識・技能・態度等をもとに自ら課題を発見し、解決に向けた方策を立案し実行できることを目指す。 この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に修了証書を授与する。 **知識・技能** 1. 養護教諭としてふさわしい、高度な専門的知識と技能を身に付け、児童・生徒の特性や教育の本質を、養護教諭としての教育実践に関連付けて理解している。 2. 児童・生徒、教員、保護者等と意思の疎通、連携、協力ができるコミュニケーション能力、ICT 能力を身に付け、体系的、構造的に理解している。 **思考力・判断力・表現力** 1. 専門的な知識、技能を充分に活用して、教育の場で課題を解決する確かな実践力と研究力を有している。 2. 一人一人の特性を理解し尊重しながら、育ちを支え、体と心の健康、安全を守ることができる。 **主体性・協働性・倫理性** 1. 児童・生徒の立場に立ってその気持ちを受容し、理解し、共感しようとする態度を身に付けている。 2. 養護教諭の役割と責任を認識し、自ら成長し向上して責任を果たそうとする情熱と意欲を持ち、社会への奉仕の精神、人に対する優しさと思いやりを身に付けている。 3. 養護教諭として、高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従い、多様な人々と協力して、地域や社会の発展のために主体的に貢献できる力を身に付けている。
教育課程編成・実施の方針 【カリキュラム・ポリシー（ＣＰ）】	本学では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および修了方針に掲げる目標を達成するために、学科・専攻科ごとに教育課程を体系的に編成し、科目を配置する。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. 心身ともに健康かつ文化的に豊かな人生を送るために必要な知識・技能に関わる分野の科目を配置する。 2. 「子ども」に関する幅広い専門知識と実践力を備え、基本的な内容から応用・発展的な内容まで体系的に学べるように科目を配置する。 **教育方法** 1. 講義形式の授業とともに、学生の主体的な学びを引き出すために少人数授業、習熟度別授業、双方向的・学生参加型授業、課題解決型授業等の多様な授業形態を取り入れた教育方法を実施する。 2. 学外実習等の体験的な学習活動を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。 2.　学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たすことを含め、総合的に評価する。	子ども健康学科では、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げる目標を達成するために、教養教育科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. 幅広い教養の修得をめざす科目のほか協調性、自己理解・自己管理能力、課題対応能力を身に付けるためのキャリア支援科目を含めた教養教育科目を配置する。 2. 子どもの発達支援及び健康の維持増進に関する専門的知識・技能を身に付けるための専門教育科目を配置する。 3. 専門教育科目は、学科の基礎的な科目で構成する基礎科目と、進路に応じて「発達支援領域」、「健康支援領域」のいずれかに軸足をおきながら両領域の知識・技能を修得するよう基幹科目及び教職関連科目を配置する。 4. 専門的な知識と技能をより深く理解できるように演習・実習の科目を適切に配置する。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 学外実習などの体験的な学習活動を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。 2. 2 年間の学修成果は、卒業要件の各区分単位を満たしたことにより認定する。	子ども健康学専攻では、修了方針に掲げる目標を達成するために、専門的科目、専門関連科目、教職に関する専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。 教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。 **教育内容** 1. 学科の課程における「子ども」に関する学びを基礎とし、子どもの心身の健康を維持増進する専門的かつ実践的な知識及び技能を体系的に学べるように科目を配置する。 2. 「子ども健康学特論」を主軸科目として位置づけ、教育・保健学領域の科目において子どもの成長と発達を具体的に深く学べる科目を配置する。 3. 障がいをもつ子どものサポートを含め、より高度な「子ども」に関する学びを深める科目を配置する。 4. 社会での実践力の基礎を培うためキャリア教育の科目を配置する。 5. 学修成果のレポート作成に関する修了研究では、幅の広い「子ども」に関する学びが効果的に反映されるような研究活動が展開できるような体制をとる。 **教育方法** 1. 主体的・能動的な学修態度を育むために、学生参加型学習、グループワークなど双方向型の教育方法を実施する。 2. 講義・演習・実習の授業形態に応じて、アクティブ・ラーニングを取り入れ、協働性を身に付けるとともに、課題解決能力を育成する。 3. 学外実習などの体験的な学習活動を実施する。 **教育評価** 1. 各授業は、シラバスによって明確化された到達目標と成績評価基準に従い、単位を付与する。 2. 2 年間の学修成果は、修了要件の単位を満たしたことにより認定する。
入学者受入れの方針 【アドミッション・ポリシー（ＡＰ）】	本学は、学是「自律処行」を理解し、卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）に掲げた目標を強い意志を持って達成しようとする人を受け入れる。 また、それぞれの学科・専攻科が必要としている「基礎的・基本的な知識・技能の習得」、「課題を解決するための思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」を有し、さらに、教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）をよく理解し、各学科・専攻の教育目標に応えて修得しようとする人を広く受け入れる。	子ども健康学科は卒業認定・学位授与の方針（ＤＰ）および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 高等学校等で、基礎学力および教育や保育の現場で必要となる人間関係能力、文章力を身に付けている。（**知識・技能**） 2. 乳幼児、児童、生徒と実際に関わっていくために必要な論理的思考力および表現力を持つとともに課題解決力を持っている。併せて、子どもの心身の健やかな成長発達を支援することに熱意を持っている。（**思考力・判断力・表現力**） 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。（**主体性・協働性・倫理性**）	子ども健康学専攻は修了方針および教育課程編成・実施の方針（ＣＰ）に基づき、次に掲げる入学者を広く受け入れる。 1. 短期大学等で、子どもの心身の健全な成長・発達および子育てに関する基礎的な知識を身につけている。（**知識・技能**） 2. 児童・生徒の発達段階をサポートするために必要な論理的思考力および表現力を持つとともに、課題解決力を持っている。併せて、教育・保健学領域に深い関心を持ち、養護教諭として働くことに熱意を持っている。（**思考力・判断力・表現力**） 3. 多様な人々と協力して、よりよい社会を実現したいという気持ちを持ち、主体性・協調性を発揮したいという意欲を有する。（**主体性・協働性・倫理性**）